

第3章 INTERGLAD Ver. 7 基本操作方法

システムインストールおよび初期設定方法	1
A. スタート方法	10
D. 特性データベース検索方法	11

Q4: CD フル機能版 立ち上がらない

以下、マニュアル 3 章 システムインストールおよび初期設定に従い、操作願います。
特に赤枠箇所が関連します。

以下は注意点です。

・**バッチファイルの記載内容を書き換える。**

D. 1 特性予測 (特性式利用)	20
D. 2 特性予測 (重回帰分析)	21
D. 3 材料設計(組成最適化) (重回帰分析)	25
E. 構造データベース検索・解析方法	28
F. ユーザーデータベース登録・利用方法	31
F. 1 データ登録	31
F. 2 データ一括登録	33
F. 3 ユーザーデータベース利用	36
付帯資料	
1. 多次式重回帰分析について	39
2. データ補間について	40
3. 代表値について	41

INTERGLAD のご使用が初めての方も、
本章の基本操作方法により一通りの利用ができます。
詳細はユーザーズマニュアル第 4 章をご覧ください。

"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
パソコン OS が 64 ビットの場合、

"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
変更内容を保存します。これにより、インストール・設定が終了しました。なお、本操作にはマニュアルの pdf よりのコピー&ペーストが便利です。文字コードは ANSI とします ([ファイル]→[名前を付けて保存]より確認・変更ができます)。

⑤ INTERGLAD 起動

デスクトップに表示された [INTERGLAD7.6] アイコンをダブルクリックすると INTERGLAD システムが起動し、メイン画面が開きます。User ID、Password を要求するダイアログが現われますので、User ID、Password を入力し、[OK] ボタンをクリックします。Java Ver. 8 使用の場合には、「Cannot connect local database. . .」のダイアログが 4 回現れますので、それぞれに「OK」ボタンをクリックします。また画面上部のアイコンから Preference 画面を開き、INTERGLAD Data の Server を選択します。

以上の操作でインストール・設定が終了し、検索等の操作が実行できます。なお、Java Ver. 7 使用の場合には、上記の「Cannot connect local database. . . .」のダイアログは現れません。User ID、Password の入力は、INTERGLAD システムの起動毎に必要となります。

⑥ Java Ver. 8 対応暫定版の利用

Java Ver. 8 使用の場合にもフル機能が利用できるよう検討中であり、その暫定版を使用できます。本暫定版は、ODBC データベースへのアクセス機能を JDBC、UCanAccess により補完したもので、ユーザーデータ登録・変換以外のすべての機能が利用できます。既登録のユーザーデータはサーバーデータと一緒に検索また予測に使用することができます。

本システムを利用する場合には、まず③ 1)に記載された方法により INTERGLAD Download 画面を開き、[INTERGLAD の利用環境 (Java 実行環境)] をクリックします。次に、このページの 2 (2)に記載の INTERGLAD7.5b (Zip Binary) をダウンロードします。"interglad-7.*.*.0b.zip" セットアップ手順はそのページに記載されています。

本暫定版の立ち上げはデスクトップに作られた [interglad7] バッチファイルのショートカットアイコンをダブルクリックすることにより行います。最初の立ち上げにのみ多少時間を要します (10 分程度)。

特に関連する箇所です (赤枠部)

3. CD フル機能版利用

① パソコン OS (オペレーティングシステム) 確認

パソコン OS が 64bit 版か 32bit 版かを以下により確認します。コントロールパネルのシステムとセキュリティを開き、システム画面を開くと、システムの種類が 64 ビット

トオペレーティングシステム、あるいは 32 ビットオペレーティングシステムと表示されます。

② Java インストール

下記のサイトより Java Ver. 7 (32bit 版) をインストールします。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/java-archive-downloads-javase7-521261.html#jre-7u80-oth-JPR>

Windows x86 Offline: jre-7u80-windows-i586.exe

このダウンロードは、画面の手順に従い、無償の Oracle プロファイルを取得し、設定したユーザー名、パスワードを入力して行います (わかりにくい場合には NGF 事務局にご相談ください)。

Java Ver. 7 までには ODBC データソースへのアクセス機能がありましたが、Ver. 8 にはこの機能がありません。従って、Java Ver. 8 のみ使用の場合には、ローカル DB (データベース) が必要な通常の CD フル機能版の利用ができません。Java Ver. 8 のみの使用が必要な場合には、3. ⑥をご覧ください。なお、Java Ver. 7 については Oracle 社のパブリックアップデートがすでに終了しているため、セキュリティ上の必要がある場合には Oracle 有償サポートを利用することもできます。Java のアップデートにより、Ver. 7 を削除しないよう注意します。

③ INTERGLAD システムをインストール

CD 中の下記インストーラーを、パソコンに保存した後、インストールします。

Windows 10 (7, 8 も同) の場合 `interglad-7.6.*.*-sa-setup-win.exe`

なお、インストールのために、パソコンのセキュリティソフトを一時停止するか、セキュリティレベルを一時下げるなどが必要となる場合があります。例えば Windows 10 で Windows SmartScreen が有効となっている場合には、これを一時的に無効とする必要があります (コントロール・パネルのセキュリティとメンテナンス画面より、Windows SmartScreen の設定の変更を行います)。「Windows によって PC が保護されました」とのダイアログが現れた場合には、「詳細の情報」をクリックし、「実行」をクリックします。

また、使用環境により管理者等の ID、パスワードが必要となる場合もあります。

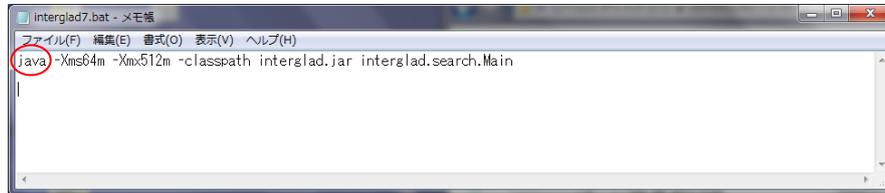
④ [interglad7]バッチファイルの書き換え

この書き換えは、パソコン OS が 32bit で Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用している場合、また OS が 64bit の場合には、Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用しているかどうかにかかわらず必要となります。

- 1) デスクトップに表示された [INTERGLAD 7.* SA] アイコンを右クリックして [編集] を開きます。

- 2) [interglad7]バッチファイル (interglad7 - メモ帳) の記載内容を書き換えます。
システムインストール時 (書き換え前、下図)

```
java -Xms64m -Xmx512m -classpath interglad.jar interglad.search.Main
```



冒頭の[java]を下記に書き換えます。

パソコン OS が 32 ビットの場合、

```
"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
```

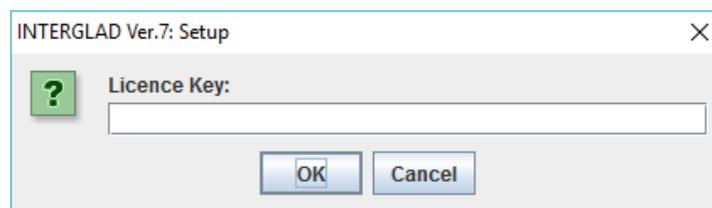
パソコン OS が 64 ビットの場合、

```
"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
```

変更内容を保存します。これにより、インストール・設定が終了しました。なお、本操作にはマニュアルの pdf よりのコピー&ペーストが便利です。文字コードは ANSI とします ([ファイル]→[名前を付けて保存]より確認・変更ができます)。

⑤ INTERGLAD 起動

デスクトップに表示された[INTERGLAD 7.* SA]アイコンをダブルクリックすると INTERGLAD システムが起動し、メイン画面が開きます。ライセンスキーの入力を要求するダイアログ(下記)が現われますので、CD 中のライセンスキーをコピーして貼り付け、[OK]ボタンをクリックします。以上の操作によりインストール・設定が終り、検索等の処理を実行できます。



⑥ Java Ver. 8 対応暫定版の利用

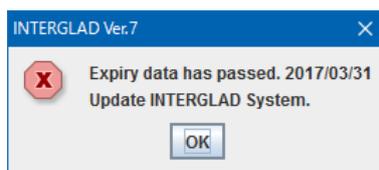
Java Ver. 8 使用の場合にもフル機能が利用できるよう検討中であり、その暫定版を使用できます。本暫定版は、ODBC データベースへのアクセス機能を JDBC、UCanAccess により補完したもので、ユーザーデータ登録・変換以外のすべての機能が利用できます。既登録のユーザーデータはサーバーデータと一緒に検索また予測に使用することができます。

本システムを利用する場合には、CD 中の"interglad-7.*.*.0b-sa.zip" をパソコン内

にダウンロード、展開し、[interglad7]バッチファイルをダブルクリックすることによりシステムを立ち上げます。最初の立ち上げにのみ多少時間を要します（10分程度）。

4. スタンダード版、CD フル機能版のアップデート方法

スタンダード版の場合、メイン画面のメニューバーの[Help]より[Check Update]をクリックし、[INTERGLAD Downloads]ページを開き、新バージョン（7.*.*）がある場合にアップデートを行います（下記②～⑩の操作）。また「使用期限が過ぎています」（下図）とのダイアログが現れた場合には、下記①～⑩の操作によりアップデートを行います。



- ① ニューグラスフォーラムのウェブサイトより INTERGLAD ページを開き、画面右のメニューより INTERGLAD 接続の[スタンダード版システムダウンロード]をクリックします。次に User ID、Password を入力し、[LOGIN]をクリックし、さらに[Download]をクリックします。
- ② 開いた [INTERGLAD Downloads] ページの最新 Version の INTERGLAD 7.* Software Downloads よりパソコンの OS に合った INTERGLAD システムのインストーラー（Windows 7、8、10 の場合、interglad-7.*.*-setup-win.exe）を選択し、パソコンにダウンロードし、保存します。Java Ver. 8 対応暫定版を使用することもできます（2. ⑥参照）。
- ③ ユーザーデータにデータ登録がある場合（登録がない場合には④へ）、アップデートの前に、必ずユーザーデータファイル(GP_user_7*.mdb)をバックアップします。ユーザーデータファイルは、デフォルトの場合、以下に保存されていますので、[INTERGLAD7.0]フォルダからデスクトップなどに移します。
Windows Vista、7、8、10 の場合、C:\¥INTERGLAD 7.0¥GP_user_7*.mdb
(Windows XP の場合、C:\¥Program Files¥New Glass Forum¥INTERGLAD 7.0¥GP_user_7*.mdb)
- ④ コントロールパネルからプログラムのアンインストールまたは変更を開き、[INTERGLAD7.*]をアンインストールします。アンインストールを行わずにアップデートを行うと途中でエラーとなります。
- ⑤ ユーザーデータ機能を使用する場合には、Java Ver. 7 (32bit 版) が必要なため、Ver.7 がインストールされていない場合にはインストールします。ユーザーデータ機能（変換、登録、検索等での使用）以外のすべての機能は Java Ver. 8 (32bit 版)がインストールされていれば使用できます。（1. ②参照）
- ⑥ ①で保存したインストーラーをダブルクリックし、PC へのインストールを行います。

- ⑦ Java Ver. 7 使用の場合には、[interglad7]バッチファイルを書き換えます（ 2. ④参照）。
- ⑧ 新たにインストールした[INTERGLAD 7.0]フォルダ中に②で保存した GP_user_7*.mdb を入れます（Ver. 7.5 以前、*が 5 以下の場合）。保存したファイルが GP_user_76.mdb の場合には、新たな GP_user_76.mdb をフォルダからデスクトップ等に出し、保存したファイルと差し替えます。
- ⑨ ユーザーデータが GP_user_7*.mdb（Ver. 7.5 以前） の場合には Ver. 7.6(76)への変換登録をします(第 4 章 6.1 (2) (F)参照)。
- ⑩ デスクトップの[INTERGLAD 7.*]アイコンをダブルクリックして INTERGLAD を起動します。メイン画面より環境設定(Preference)小画面を開き、Local Database および User Database の[MDB File]欄に最新のファイルを選択して入れ、[OK]ボタンをクリックします。

CD フル機能版の場合にも、新たな Version の CD を NGF より受領したとき、上記の①～⑨の操作を行います。この場合、①の INTERGLAD システムのインストーラーは、NGF より送付された新たな CD 中のインストーラー(interglad-7.*.*-sa-setup-win.exe)となります。②、③、⑦の[INTERGLAD 7.*]は[INTERGLAD 7.* SA]となります。⑨の[INTERGLAD 7.*]アイコンは、[INTERGLAD 7.* SA]アイコンとなります。

5. 新 INTERGLAD サーバーへの移行に伴う接続先変更方法

INTERGLAD サーバーが 2017 年 5 月 23 日より新サーバーに変わりました。このため、以前よりのスタンダード版を使用の場合、接続先 IP アドレスの変更が必要となります。変更を行わないとスタンダード版の使用ができません。

- ① スタンダード版を立ち上げ後、ダイアログ ”Cannot Connect INTERGLAD Server. Setup Network Configuration?” が現れた場合には、ダイアログの OK ボタンをクリックし、環境設定(Preference)小画面を開きます。
- ② 環境設定小画面の Server Database の Server URL 3 カ所を 61.194.5.20 より 153.121.91.149 あるいは www.interglad.jp に入れ替えます（画面図参照）。
- ③ OK ボタンをクリックします。

上記操作は 1 回行えばよく、INTERGLAD を使用する毎に行う必要はありません。

なお、インターネット版利用の場合には、java 例外サイトへの <http://153.121.91.149> あるいは <http://www.interglad.jp> の追加が必要となります。1. を参照ください。